



2026年2月18日

各 位

会社名 小林製薬株式会社
代表者 代表取締役社長 豊田 賀一
コード番号 4967 東証プライム

剰余金の配当及び別途積立金の取り崩しに関するお知らせ

当社は、2026年2月18日開催の取締役会において、下記の通り2025年12月31日を基準日とする剰余金の配当及び別途積立金の取り崩しを行うことを決議しましたのでお知らせいたします。

なお、当社は会社法第459条第1項に基づき、取締役会の決議をもって剰余金の配当等を行う旨を定款に定めています。

記

1. 剰余金の配当

(1) 配当の内容

	決定額	直近の配当予想 (2026年2月10日)	前期実績 (2024年12月期)
基準日	2025年12月31日	2025年12月31日	2024年12月31日
1株当たり配当金	60円00銭	60円00銭	59円00銭
配当金の総額	4,460百万円	—	4,385百万円
効力発生日	2026年3月9日	—	2025年3月14日
配当原資	利益剰余金	—	利益剰余金

(2) 理由

当社は、安定した配当を継続していくこと、および中間配当と期末配当の年2回の剰余金の配当を行うことを基本方針としながら、連結業績を反映した配当政策を進めていく考えであります。

上記方針に基づき、2025年12月期の1株当たり年間配当金につきましては104円とし、中間配当金が1株当たり44円でありましたので、期末配当金を1株当たり60円とさせていただきました。

(参考)

	1株当たり配当金		
基準日	中間期末	期末	年間
当期実績(2025年12月期)	44円00銭	60円00銭	104円00銭
前期実績(2024年12月期)	43円00銭	59円00銭	102円00銭

2. 別途積立金の取り崩し

(1) 減少する利益剰余金の項目及びその額

別途積立金 8,300,000,000 円

(2) 増加する利益剰余金の項目及びその額

繰越利益剰余金 8,300,000,000 円

(3) 実施の目的

今後の経営環境の変化に対応した機動的かつ安定的な配当を実施するためです。

(4) 効力発生日

2026年3月9日

(5) 業績に与える影響

本件は、貸借対照表の純資産の部の勘定科目の振替処理となるため、純資産額に変動はなく、業績に与える影響はございません。

以上